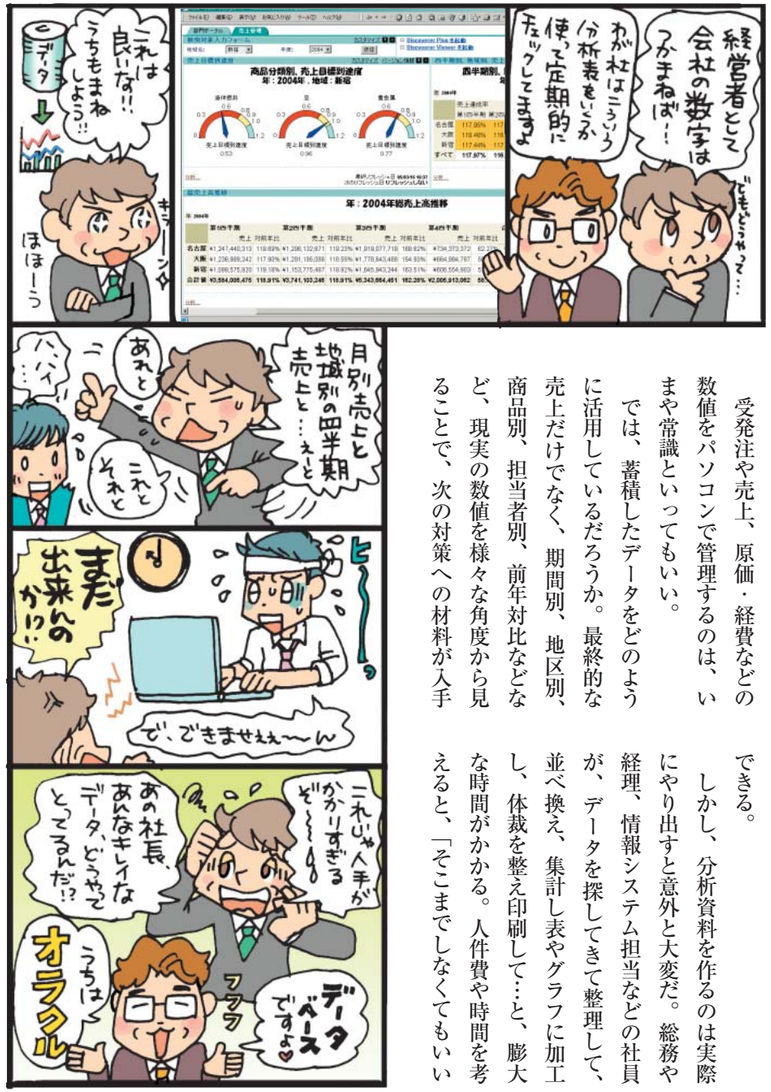
どんな分析ができる？

データベースと一体の分析ツールで本当に役立つ経営資料を作る！



受発注や売上、原価・経費などの数値をパソコンで管理するのは、いまや常識といってもいい。

では、蓄積したデータをどのように活用しているだろうか。最終的な売上だけでなく、期間別、地区別、商品別、担当者別、前年対比などなど、現実の数値を様々な角度から見ることで、次の対策への材料が入手できる。

しかし、分析資料を作るのは実際にやり出すと意外と大変だ。総務や経理、情報システム担当などの社員が、データを探してきて整理して、並べ換え、集計し表やグラフに加工し、体裁を整え印刷して…と、膨大な時間がかかる。人件費や時間を考えると、「そこまでしなくてもいいか…」となりがちだ。

ウィザード画面に沿うだけで目的に応じた帳票を簡単作成

冒頭のイラストで紹介されている分析資料は、日本オラクルのデータ分析ソリューションを使って作成したものだ。同社の分析ツールを使うとこうした資料もあっという間だ。

日本オラクルは、データベースシステム「Oracle Database 10g」と併せて、データ活用・分析ソリューション「Oracle Business Intelligence（ビジネス・インテリジェンス：BI）」を提供しているが、その中に、データ検索・集計・分析を行うツール（ソフトウェア）である、「Oracle BI Discoverer（ディスカバラ）」があるのだ。

このツールでは、データベースの詳しい知識がなくともデータを検索し、分析用の集計・加工や、帳票（分析レポート）としての保存・活用が可能。社員ごとにデータのアクセス権や閲覧範囲を設定できるので、情報セキュリティの面でも安心して使える。

パソコン用ソフトとしては、Web対応版の「Viewer」と「Plus」、クライアント・サーバー対応版の「Desktop」が用意されている。

「Plus」と「Desktop」は、ウィザード形式の画面に従って、閲覧したいデータ項目を選んでいくだけで、集計表やグラフの入った帳票を自動作成する。

例えば、売り上げ分析用の帳票を作りたい場合、選択リストから「売上高」、「売上計画」、「営業地域」、「商品」、「メーカー」など目的に応じた項目をピックアップすれば、データベースから各項目について最新の情報が引き出され、画面に表示される。さらに、グループソートやドリルダウン機能を使うことで、年度ごと、地域や店舗別に集計し直すことも簡単にできる。もちろん計算式を入力して利益率を追加表示することなども可能だ。

5ユーザーからの手頃な価格で少人数でも導入・活用が容易

さらに、ある程度定型化された帳票を閲覧するだけなら、Webブラウザーで帳票を参照・検索する「Viewer」が手軽で便利だ。利用者個々に閲覧したい年・月、商品などの条件を事前に設定できるので、雛型となる帳票さえ作っておけば、部長用、社長用と個別の対応もスピーディーだ。

また、複数の帳票をポータルサイトに貼り付けて、常に最新のデータ集計を一覧できるような画面を作るといった使い方も可能となっている。

これだけ便利だと「データ分析はしたいけれど、導入コストが高いのでは」という懸念を持つかもしれないが、その点の心配は無用。Oracle BI Discovererは5ユーザーで59万3000円～。データベースシステム「Oracle Database 10g」と併せ、納得価格での導入が実現できる。

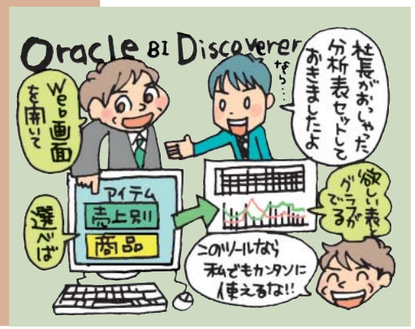
ビジネスで使うデータベースは、信頼性と価格そして分析ツールの充実が選択ポイントである。

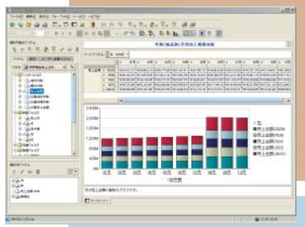
オラクルデータベースで経営資料を！

オラクルビジネスインテリジェンス（BI）

データを簡単に集計し、レポートとして公開できる分析ツールがある！

- 自分でできる！ ➡ 表計算ソフト並みの操作性で欲しいデータを検索・分析
- 詳しい知識不要！ ➡ SQL文など、データベース知識がなくとも使える
- よく使うものはセット ➡ 定期的に利用したい分析内容は保存が可能。メニューを選ぶだけで最近の資料が手に入る！





もちろんオラクルデータベースなら、大量のアクセスがあっても快適操作。行単位でのセキュリティ保護もOK。

Information

- 「Oracle BI ソリューション」のご提案資料をお送りします。ご希望の方は下記お問合せ先（オラクルダイレクト）まで、『COMPASS夏号を見ました』とご連絡ください。併せて、無償のセミナーをご案内させていただきます。
- 「Oracle BI Discoverer」のデモをWeb上でご紹介しております。下記サイトよりご覧下さい。

http://www.oracle.co.jp/bi

お問い合せ先

オラクルダイレクト

電話：0120-155-096

URL：http://www.oracle.co.jp/contact

ORACLE